

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ガラテヤ 5:16-18・・・ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- \*賛美 …………… 13番
- \*交読文 …………… 41番
- \*使徒信条 …………… 会衆一同
- \*頌栄 …………… 40番
- 礼拝のための祈り ……… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …………… 488番
- メッセージ …………… 決して奪われない喜びを創造して下さる主(創世記 18:9-15)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 208番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- \*主の祈り …………… 会衆一同
- \*祝祷 …………… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

女が子を産む場合には、その時が来たというので、不安を感じる。しかし、子を産んでしまえば、もはやその苦しみをおぼえてはいない。ひとりの人がこの世に生れた、という喜びがあるためである。このように、      にも今は不安がある。しかし、わたしは再び       と会うであろう。そして、      の心は喜びに満たされるであろう。その喜びを       から取り去る者はいない。その日には、      がわたしに問うことは、何も無いであろう。よくよく       に言うておく。      が父に求めるものはなんでも、わたしの名によって下さるであろう。今までは、      はわたしの名によって求めたことはなかった。求めなさい、そうすれば、与えられるであろう。そして、      の喜びが満ちあふれるであろう。(ヨハネ 16:21-24)

そして       は言った、「神は       を笑わせてくださった。聞く者は皆       と一緒に、笑ってくれるでしょう」。(創世記 21:6)

年明けの瞬間から始まった天声の礼拝において、イザヤ65章から示された事は、主が新しく創造して下さる「新創造」を、いついつまでも喜び樂しめ、という事だった。主の御手が働かれる所には、喜び、樂しみ、笑いがある。主の御心は、私達がいつも主にあつて喜ぶ事だ。(ヨハネ 15:11, 17:13, 1テサロニケ 5:16)

主は、人を創られると早速、創られた人をエデン(意味:喜び)の園に置かれた。人は本来、主の創造の源である御言葉の中に留まるべきだが、御言葉に背くなら、喜びの園から追放されてしまう。しかし御言葉に留まるなら、主の御言葉による新創造が働き、喜びが帰って来る。今回の箇所は、主が3人の人の姿をとってアブラハムに現れ、喜びを失ってしまった妻・サラに働き、彼女に喜びを返して下さる場面である。

アブラムが99歳の時、主は彼に現れ、アブラムにはアブラハム、妻サライにはサラという新しい名前を与え、またサラには男の子が生まれる事を約束し、その名を「イサク(意味:彼は笑う)」としなさい、と言われた。その事があってから、まだそんなに日が経っていない時、主は3人の旅人の姿で彼らに現れる。『そのひとりが言った、「来年の春、わたしはかならずあなたの所に帰ってきましょう。その時、あなたの妻サラには男の子が生れているでしょう。」サラはうしろの方の天幕の入口で聞いていた。』(創世記 18:10) 彼らは明らかに只者ではないが、サラはこの不思議な出来事を見ても、まだ心が塞がれていた。『それでサラは心の中で笑って(ツァハアク:嘲笑、苦笑)言った、「わたしは衰え、主人もまた老人であるのに、わたしに樂しみ(エデン)などありえようか。』(12節) 彼女の心を塞いでいたものは、自分には子が生まれないという、何十年もずっと積み立てて来てしまった現実だった。子が生まれる事を、何十年も望みながらも、ずっと叶えられずに過ごし、年老いて、ついに女の道も途絶えてしまった現実。その現実をなんとか受け止め、強がって、世間で流行っていた方法に従い、女奴隷にアブラハムの子を生ませてみても、かえってもっと惨めで悔しい思いをするだけだった。だから今更、こんな不思議な人達に「子が生まれる」と言われても、わたしに何の樂しみ(エデン)があるのか、と、心でつぶやくしかなかった。ところが心にその言葉が浮かんだとたん、彼女は心に巡らしていた「現実」から「眞実」に引きずり出される。『主はアブラハムに言われた、「なぜサラは、わたしは老人であるのに、どうして子を産むことができようかと 言つて笑つた(ツァハアク)のか。」主にとって不可能なことがありますか。」来年の春、定めの際に、わたしはあなたの所に帰ってきます。そのときサラには男の子が生れているでしょう。」サラは恐れたので、これを打ち消して言った、「わたしは笑いません」。主は言われた、「いや、あなたは笑いました。』(13-15節) サラはとてつもなく驚いただろう。恐れただろう。しかしそれは幸いである。絶望と倦怠感に淀み切っていた心に、主が御手を触れ、「眞実」によってそれを粉々に砕き、新しい創造を与えられるのだから。そして実際に来年、100歳のアブラハム、90歳のサラの間に、息子イサクが生まれたのだ。

主はなぜ「笑い」にこだわられたのか。ヘブライ語で見ると、主の意図が浮かび上がってくる。「ツァハアク」(צַחַק (ツァディ) + חָ (ヘット) + קַ (クフ))の意味は「笑い(嘲笑、冷笑など)」だが、その最初に「!」(ユッド)が加わるとイツァハアク、すなわちイサクとなる。文字ユッドの意味は「手、働き」であった。サラは最初、心なしの笑いをした。ため息混じりの苦笑しか出て来なかったが、そこに主の手が加わった。人の笑いや嘲笑に、主の御手が加わると、主の新しい創造が生まれ、死んでも同様のアブラハムとサラの間にイサクが、すなわち、決して失われない真の笑いが生まれ、そしてその子孫は、星の数のようになる。なお、ゲマトリア(ヘブライ語の数字変換)から見ると、ツァディは90、ヘットは8、クフは100であるが、100と90は、イサクが生まれた時のアブラハムとサラの歳だ。そして8は、割礼の日の数字である。主は、アブラハムに割礼の契約を与え、サラも、硬い肉的な思い込みに切り込みを入れられ、そうしてイサクが生まれた。「サラは言った、「神はわたしを笑わせてくださった。聞く者は皆わたしのことで笑うでしょう。」」(21:6) 私達も、どんなに無気力な笑いや冷笑しか出てこなくても、そこに主の御手が働く時、人のわざでは到底有り得ない「いのち」が創造される。そして主が働く時、私達は決して奪われない喜びと笑いに満ち溢れる。今、日本のインターネット上は、冷笑、苦笑、望みを失った笑いに満ちている。この国を真の喜びで満たす事が出来るお方は、ただ、主イエス様だけである。主によって決して奪われない喜びと笑いに満たされ、そうしてこの国に真の喜びを届けて行く皆さんでありますように！ イエス様のお名前によって祝福します！

# 横浜天声キリスト教会 礼拝 週報



## 集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → [youtube.com/c/横浜天声キリスト教会](https://youtube.com/c/横浜天声キリスト教会)

### 日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝  
食事/フェローシップ/賛美 12:30~  
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00~

### 日々の集会

月~金 早天祈祷会 5:00~  
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00~  
火~木 夜の祈祷会 19:30~

### 水曜礼拝

1部 13:00~  
2部 19:30~

## アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で  
聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園I-201  
TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



YouTube